



兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会  
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25  
電話：(078) 612-5151  
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

# かけはし

2019年4月発行

No. 68



## 「院長就任のご挨拶」

神戸朝日病院 院長 キン ス キ 金 秀 基



●2019年4月1日より、神戸朝日病院院長に就任いたしました金 秀基です。

創立31周年目を迎え、元号が変わる節目でもある2019年度から、心新たにより良い病院創りに取り組んでいく所存です。

これから神戸朝日病院を運営していく上での3つのvisionを挙げさせていただきます。

### ● “BE KOBE”

この言葉は、阪神・淡路大震災20年目の2015年に、「震災を乗り越えた神戸を大事にして誇りに思う」「人のために力を尽くす」という市民の思いを集めて神戸市から名付けられたシンボルです。これは、地域のみなさまの生活に寄り添い、急性期～慢性期まで幅広く神戸の医療に貢献できる病院であることを目指す本院の姿勢にまさに合った言葉だと考えております。高齢化社会を迎えて“病気を治し、生活を支える”「生活支援型医療」のニーズが高まっている中、本院は「地域包括期」の病院としての役割を担っています。診療や看護だけでなく、それぞれの患者様の病状や背景に応じて、各スタッフが力を合わせて総合的に患者様のお役に立てるように取り組んでいます。これからも「神戸にこの病院があってよかった」と思っただけのように、地域のネットワークや他の医療機関ともますますの連携を図りながら、神戸の地域医療の一端を確実に支えていきたいと考えております。

### ● “Top Professional”

これは、医療技術者から事務部門担当者にいたるまで、すべてのスタッフがプロ意識を持って仕事に臨み、患者様に質の高いパフォーマンスを提供できる力をつけるということです。このためには、

プロフェッショナルとして、多方面で最新の知識のアップデートや、新しい治療技術の習得を継続することが前提となります。とりわけ、消化器（内視鏡も含めて）・肝臓領域については専門医療機関としてさらなるレベルアップを図っていく考えです。一方で、患者様の人生の中で病気や闘病、治療がおよぼす影響を視野に入れながら、患者様・ご家族のお気持ちに真摯に向きあう姿勢もプロでありたいと思います。接遇も含めて「至誠」を心掛けて、患者様とコミュニケーションをとる力をさらに磨き、より深い信頼関係を築いていけるよう努力を積み重ねて参ります。

### ● “With Your Dreams”

スタッフに対しては、自分らしく働いてほしい、自分らしい夢や目標を大事にしてほしいと思っています。キャリアアップや資格を取得することはもちろんですが、それだけでなく、こんな人になりたい、患者様にこんな関わりをしたいという目に見えない部分も含めて、自分らしく挑戦する前向きな取り組みを積極的に応援・サポートしていければと考えています。私の座右の銘のひとつは「夢は正夢」という言葉です。一人ひとりが夢を掴むプロセスで輝いて欲しいですし、それぞれの夢や目標が一つずつ実現していけば、きっと神戸朝日病院は、患者様やスタッフにとってさらに魅力のある病院になると確信しております。

●まだまだ途上の病院ではありますが、以上のvisionを掲げて、着実に成長し、前進していきます。これからの神戸朝日病院の可能性に期待していただければと存じます。今後ともよろしくご厚意申し上げます。



## 「副院長就任挨拶」 副院長 藤井 貴子

●昨年11月から神戸朝日病院で勤務するようになり、この4月から副院長に就任と、数か月の間にめまぐるしく状況が変化いたしました。これも自分の運命と受け入れ、この地で全力を尽くす所存であります。どうぞ皆さまよろしくお願ひ申し上げます。

●さて、高齢化社会による医療・福祉の問題をどうするかが喫緊の課題となっている社会において、私たちのような病院は地域の中での役割を模索し、時に医療再編を余儀なくされる例を見受けます。しかし、自らの専門性を磨き、すべきことをすれば結果はついてくると私は考えています。神戸朝日病院はかねてより肝疾患を専門としてきた病院です。私自身も外部から興味をもって眺めていた時期がありました。今後は、肝疾患から見た生活習慣病への取り組みという点でも大きな貢献ができ、新しい知見を生み出していけると思っています。

●私自身は、外科医を志し、これまで肝胆膵移植医療に携わってきました。周術期に必要なありとあらゆる知識を掘り下げの中で、外科と内科のキメラのような存在になっているように思います。また、医療技術の歴史に大変興味があり、開発秘話や紆余曲折を知り、当時へのあこがれと時代を超えたつながりを持ち続けている稀有な中年医師です。きっと治療の選択や対応に深みがでていると思います(笑)。

●これからの医師に求められることは、疾患だけでなく人を診ること、そして患者の生活を支える覚悟を持った診療です。大きな手術を乗り越えたサバイバーだからこそその苦しみや不自由さを私は外科医として見てきました。そのような方々に寄り添い、ただのスクリーニングではなくある程度のところまでは治療するという診療を神戸朝日病院は提供できると考えています。

●ちなみに、好きな言葉は「己の立てるところを深く掘れ。そこには必ず泉あらん」「凡事徹底」です。

## 【苺のブランマンジェ】

栄養科 管理栄養士 浅利 美佳



●春に旬を迎える苺はビタミンCが多く含まれています。ビタミンCは体内の抗酸化作用、コラーゲンの合成やストレスに強くなる物質の合成、発癌物質であるニトロソアミンの生成を抑える効果があるとされています。また、体内での鉄分吸収を促す効果があり、貧血予防にも役立ちます。

●ブランマンジェとはフランス語で「白い食べ物」という意味です。本来は砕いたアーモンドからアーモンドミルクを抽出し香りをつけますが、今回は気軽に試していただけるようシンプルなレシピをご紹介します。

●新しい環境に変わったり、新しいことを始めてみたりと頑張りすぎてしまう方もいらっしゃるのではないのでしょうか。旬の苺を使ったデザートで息抜きしていただけたらと思います。

### 材料 (3人分)

牛乳：200g  
粉ゼラチン：5g  
砂糖：18g  
水：25g  
苺：6個

■栄養量 (1人分) エネルギー：81kcal タンパク質：3.7g ビタミンC：10.5mg

### 作り方

- ①粉ゼラチンを冷水にふり入れてひと混ぜしておく。使う直前に80℃以下の湯煎で溶かす。
- ②ボウルに砂糖を入れ、牛乳を少しずつ加えて溶かす。溶かしたゼラチンを加えて混ぜる。
- ③器に分け入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④固まったブランマンジェの上に、食べやすい大きさにカットした苺を飾る。

# 新入職医師のご紹介

## 放射線科

部長 <sup>ひさと</sup>小林 久人 先生 読影・検査・画像下治療(IVR)  
(山口大学 昭和54年卒)

日本医学放射線学会 放射線診断専門医・研修指導医  
日本核医学会 専門医・PET 核医学認定医  
日本インターベンショナルラジオロジー学会 IVR 専門医  
日本がん治療認定医機構 日本がん治療認定医



1. 当院の印象はどうですか。 —非常に活気に溢れている病院。
2. ご出身はどちらですか。 —滋賀県
3. 今、夢中になっていることを教えてください。 —ゴルフで100を切ること。
4. サマージャンボで1億円が大当たり。何に使いますか。 —神戸に一軒家を買います。
5. 医師として、特に注意されていること、大切にされていることは何ですか。  
—頼まれたら決して断わず、お役に立てるように努力すること。
6. 神戸朝日病院の患者様に、ひと言メッセージをお願いします。  
—放射線科医として正確な画像診断、その治療的応用であるIVRでお役に立てるよう最大限に貢献します。

## 内科

湯浅 佳菜子 先生 病棟患者管理  
(香川大学 平成20年卒) 外来担当(内科): 火曜日 午前診



1. 当院の印象はどうですか。  
—3年ぶりに戻ってきて、活気はあるけど、以前より落ち着いた雰囲気になったと思います。
2. ご出身はどちらですか。 —兵庫県
3. 今、夢中になっていることを教えてください。  
—子育てです。毎日何をしでかすか予想がつかず、面白いです(イライラもしますけど)。
4. サマージャンボで1億円が大当たり。何に使いますか。  
—まずは現実的に家のローンを払って、残りは旅行と貯金です。
5. 医師として、特に注意されていること、大切にされていることは何ですか。  
—どんな時も、自分が自分の家族にして欲しいように患者様やそのご家族に接すること。
6. 神戸朝日病院の患者様に、ひと言メッセージをお願いします。  
—病気になって不安な時、遠慮せず色々聞いて下さいね。少しでも不安な気持ちを軽くして、一緒に治療をしていきましょう。

## 看護の日 イベントを開催いたします

- 当院においては、初めての取り組みとなる看護の日のイベントを開催いたします。

日時: 2019年5月25日(土) 14:00~15:00

場所: 1Fロビー

- 内容: ① 身体測定コーナー(身長・体重・体脂肪率・筋肉量・内臓脂肪・基礎代謝)  
② 体操コーナー(転倒予防・骨粗鬆症予防に役立つ体操)  
③ 栄養相談コーナー(骨粗鬆症予防のための食事・メニュー紹介・指導) など(予定)

※②、③は、それぞれ2回に分けて行います。(②14:00~14:10、14:30~14:40、③14:10~14:30、14:40~15:00)

- ご参加にあたっては、事前予約も、参加費も不要です。お近くの方も、そうでない方も、身体測定で今のご自分の状態をご確認いただいて、骨粗鬆症予防のための食事についてのお話をお聞きいただいたり、実際に一緒に体操したり、私たち職員と一緒に、楽しく過ごしませんか。みなさん、是非お気軽にご参加ください。



# 胃内視鏡検査のすすめ

事務局長 谷口 美幸

●胃部症状として胃の痛み、不快感、胸やけ、吐き気などがあげられます。ほとんどの方は、何となく症状があっても、市販の胃薬を飲んだり、かかりつけの先生に胃薬を処方していただいて様子を見るということが多く、胃内視鏡検査を受けたことがない方も多いのではないのでしょうか。



厚生労働省の調査データでは、胃がんは、日本全国で1年間に約13万5000人が診断され、男性では最も多く、女性では乳がん、大腸がんに次いで3番目に多いがんです。50歳ごろから増加して80歳代でピークを迎えます。

●胃がんの早い段階ではほとんど自覚症状がなく、かなり進行しても症状が出ない方もおられます。早期に発見されれば、内視鏡で治療が可能で、進行（がんが拡がり他の臓器へ転移）した状態で発見される場合と予後は全く異なります。

●以前に受けた内視鏡検査が苦しかったので検査を希望されないというお声も耳にしますが、この数十年で内視鏡も改良され、口からだけでなく鼻からの検査も選択できるようになっています。

●胃部症状の有る無しにかかわらず、50歳を過ぎたら一度胃内視鏡検査を受診されることをお勧めします。

## 神戸市胃内視鏡検診

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早くがんを見つけ、早く治療することを目的として行われます。当院は、神戸市胃がん検診（内視鏡検査）の指定医療機関です。



### 【対象となる方】

神戸市在住で、今年の4月から来年3月までに50歳以上の偶数歳の誕生日を迎える方

### 【自己負担金】

2,000円

### 【お申込み】

事前に予約が必要です。

ご予約はお電話、病院受付窓口、当院ホームページにて受付しています。

■予約受付電話：078-612-5151（代）

※内視鏡による胃がん検診は50歳以上の偶数歳のお誕生日を迎える方が対象（2年に1度）です。気になる症状がある方は、検診を待たずに医療機関を受診して下さい。



### 編集後記

通院している病院での先日の体験です。自分の予約時間までにはまだ間があったものの、かなりの方が待っておられたことから、受付カウンターにて午後から仕事に出る予定である事情を説明し相談したところ、受付担当の方が直ぐに担当のDrとNsにお電話で交渉してくださり、受付カウンター越しではなく、わざわざそこから出て来られ、対応内容を伝えてくださいました。診察場との速やかな連携と、私だけではなく他の患者様にも配慮しながらの細やかな対応に、感心、感動すると同時に、果たして逆の立場に置かれた時、自分にここまでの対応が出来るだろうかと考えさせられると共に、学ばせていただきました。（文書課 松井未佳）

### 認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定（神戸大協力型）
- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

### 交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分  
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑩⑩  
「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

